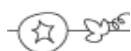


麦



埼玉親の会「麦」発行
2022年6月27日 154号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ: <http://ld-mugi.sakura.ne.jp/>



2022 度を迎えて ～代表よりメッセージ～



＜＜ 代表挨拶 ＞＞

世界中が重苦しい空気に包まれています。これまで以上に平和を願わずにいられません。人の動きはずいぶん多くなりましたが、新型コロナウイルスもまだまだ安心できません。「麦」もコロナ以前の活動を今の状況に合わせていかに実施するか、考えながら企画を練っています。会員数も役員数も少なくなりましたが、協力し合って“親の会としてやりたいこと”を大切にしていきたいと思っています。

今年度はおしゃべり会の他、数年ぶりに進路例会をすでに行いました。講演会も企画しています。また、6/12に行われた全国 LD 親の会総会では、さいたま市会場からのオンラインでの実施に協力しました。11/13には全国 LD 親の会公開フォーラムを「麦」共催で、さいたま市の会場から Zoom ウェビナー配信で実施する予定です。

今年度も会員みんなで活動を有意義なものにしていきましょう。皆様の一層のご協力をお願いいたします。

(M・K)

★2021 年度「麦」総会

2022 年 3 月 7 日 (月)

浦和コミュニティセンター 第 13 集会室

正会員 52 名中、出席 7 名、委任状 34 名、連絡なし 11 名

2021 年度はコロナ禍ではありましたが、会場での開催となりました。Kさんが司会を務め、Sさんを議長に選出しました。初めに2021年度活動報告と決算案、2022年度予算案が総会資料の通り、承認されました。次に提案事項「総会の会場開催が難しい場合、書面議決ではなくオンラインでの総会開催も可能とする」が可決されました。最後に、新年度役員を選出を行い閉会しました。

(A・Y)

★3月おしゃべり会「新年度の活動に向けての交流会」

3月7日(月) 13:00～ 参加者 8名

総会終了後、新年度の活動はどのような企画が良いかを話し合いました。月に一回はおしゃべり会を行いたいのご意見が多くありました。皆様のご意見を基におしゃべり会を中心に皆様といろいろと情報を交換したり、悩みを相談したりしていきたいと思いました。

(A・Y)

全体活動

4月全体交流会「あなたが望む発達障害支援とは」

4月21日(木) 浦和コミュニティセンター 第13集会室

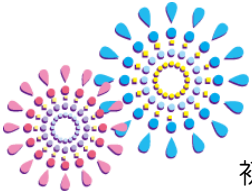
参加者23名。内訳 教育G5名(役員1名含む)、就労G7名(役員5名含む)、法人1名及び一般10名
交流会を始める前にYさんがテーマ「あなたが望む発達障害支援とは」の趣旨説明をしてくださいました。

「発達障害支援には何があるか」を改めて知ることが出来ました。

その後、幼～小学低学年、小学高学年、中高、高卒以上の4グループに分かれて、テーマに沿って交流会をしました。それぞれの年代で進路や生活上の問題を抱えています。どういう支援があるのか、情報を求めて参加した人もいました。みんなに話すことで、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

(A・Y)

全体活動



進路例会

5月23日（月）浦和コミュニティセンター第13集会室

参加者 10名（教育G4名、就労G6名） 内経験談 4名

初めて進路例会に参加させていただきました。4名の方が体験談をお話してくださいました。お子さんの経歴やどう過ごしてきたか、どの様に対応してきたか、特性は様々ではあっても今後の見通しを立てる上で大変参考になりました。その後は子供の年齢に合わせたグループに分かれ、不安な事、今の悩みなどお話ししました。先輩方も入って下さり、対応方法など教えていただけて有り難かったです。1番不安な今後の進学、就職に関してお話が聞ける貴重な機会でした。また開催して頂けると嬉しいです。（N・K）



発送活動

2月発送 2/24（木） 浦和コミュニティセンターIT研修室 9:30～印刷、10:30～製本封入

まん延防止等重点措置の期間中でしたが、発送役員を含む役員4名が、感染に気を付けながら、発送物を印刷製本し、会員と関係先に郵送いたしました。機関紙2月号は、WEB掲載いたしました。2月は総会関連資料の印刷郵送が会員人数分ございました。コロナ禍において、オンラインで間に合うもの、個別作業すべきもの、集まって作業した方が効率よいものを役員会で相談しながら、皆様に情報をお届けしています。発送について、会員皆様にはご理解ご協力よろしくお願いたします。（H・Y）

4月臨時号発送 4/21（木） 浦和コミュニティセンター第13集会室 12:00～印刷製本封入

午前の全体交流会の後、新旧発送役員と他役員の計5名で機関紙臨時号の発送作業を行いました。臨時号は事務連絡版であるためWEB掲載せずに会員のみへ郵送です。今までは、コロナ感染防止対策として、役員のみで発送を行っていましたが、感染状況とワクチン接種率などを総合的に判断して、今年度からは緊急事態宣言など特別な状況を除き、会員にも何名か発送を手伝っていただくことに決めました。役員数減少も影響して、役員負担が過多になっております。ご都合のつく会員は、発送へのご協力よろしくお願いたします。（H・Y）



NPO法人全国LD親の会

全国LD親の会 関東・東北ブロック会議

2/20（日）標題会議がZoomを利用して行われ、当会から3名（役員2名と全国LD親の会理事として1名）参加しました。

初めに2/6（日）に行われた全国LD親の会評議員会の報告があり、昨年6月総会以降の事業の報告と次年度の総会（麦は開催地の会）や公開フォーラム（さいたま市で開催、麦は共催）の計画等を伺いました。次に全国LD親の会理事長から文部科学省の特別支援教育関連と厚生労働省の発達障害に関連のある予算の説明をいただきました。教育関連予算は過去最大級とのことで、有意義に確実に執行されることを願います。

続いて全国LD親の会へ当ブロックから選出する理事・評議員の選出方法について話し合われました。引き続き各会に持ち帰って検討し、3月中の決定を目指すことになりました。さらに、半年間の各会の活動報告がありました。最後に当ブロックの一つの会が退会されることになり、ご挨拶いただきました。とても寂しい限りです。ほぼどちらの会も会員減少や役員の不足という状況があるようです。コロナ禍も相まって、会の運営の難しさが課題となっています。（M・K）



全国LD親の会 オンライン交流会「コロナ禍における新年度の活動について」

3/12(土) 19:00~21:00、Zoomを利用してオンライン交流会が行われ、麦から3名参加しました。グループに分かれ、それぞれの会の活動やこれからやってみてみたい活動、悩みなどを出し合いました。コロナ禍により始まったオンラインでの交流を拡げたい、また対面での活動の良さを見直す意見も多くありました。本人(子ども)の活動のお話もありました。全国LD親の会にこのような交流会を開催していただき、近県だけでなく全国の皆さんのお話が伺えるととても良い機会になりました。ありがとうございました。(M・K)

全国LD親の会 第15回総会

6/12(日) 10:00~12:00 さいたま市宇宙劇場

コロナの影響により、昨年同様、会員が一堂に会することを避け、開催地以外の各会には、開催地会場から総会の様子をオンライン(Zoom)で配信いたしました。「麦」は開催地として、事前準備と当日総会の運営(司会・議長・書記・議事録署名人等)を7名がお手伝いいたしました。井上理事長と栗野副理事長、全国事務局が会場に到着し、オンライン接続を確認後、総会が開始されました。

総会の概要

出欠状況 加盟団体 37 団体中 代表出席 1 団体(麦)、議決権行使書 28 団体、委任状 7 団体 欠席 1 団体
議案 4 件 「2021 年度事業報告」「2021 年度決算報告及び監査報告」「2022 年度役員選任」「定款の一部改訂」全てが満場一致で可決承認。

計画予算 2022 年度事業計画と予算の説明

その他 総会オンライン参加者と会場参加者(麦スタッフ、全国事務局)から一言。

参加者皆様のご協力のおかげで、総会は和やかに終了しました。なお役員選任で、当会の Y さんが理事任期中(非改選)のため、今年度も引き続き全国理事を務めます。

今回の総会では、当会はスタッフとして参加しました。皆様のご協力に感謝いたしますとともに、不手際がありご迷惑おかけしましたことを深くお詫び申し上げます。スタッフとして参加して、全国LD親の会の役員皆様により様々な事業が行われ、私たちも恩恵をいただいていること、また各地の会がそれぞれ奮闘していることを実感することができました。(H・Y、M・K)



その他の活動

JDDnet 埼玉

「発達障害啓発週間」ポスター展示

3/22(月)~4/8(金)

4/2は「世界自閉症啓発デー」、また4/2から1週間は「発達障害啓発週間」です。それに合わせ、県民への普及啓発活動として埼玉県福祉推進課のご協力をいただき、毎年県庁に、「世界自閉症啓発デーと発達障害啓発週間」の案内、発達障害の説明やJDDnet埼玉加盟団体の紹介ポスター等を展示しています。今年は埼玉親の会「麦」を含め4団体が参加しました。「麦」は会の紹介ポスターとリーフレット、4月のおしゃべり会のチラシを掲示しました。(M・K)



役員活動報告（埼玉県）

令和3年度埼玉県発達障害者支援センター運営協議会



3/17（木）標題会議がオンラインで開催され、JDDnet 埼玉の一員として出席しました。

発達障害総合支援センター（主に18歳未満を対象）と発達障害者支援センター（主に18歳以上を対象）から令和3年度の事業報告がありました。それぞれ、主に支援する対象年齢の支援者向けの研修会等を例年通り実施しました。多くはオンラインでの開催となったようです。支援機関への訪問支援などもコロナ禍以前のように行われました。当事者や親からの相談支援もコロナ禍での減少傾向から回復しているようです。また、一般向けの発達障害理解・啓発のための講演会もオンラインで開催されました。（本機関紙P7に掲載）

発達障害者支援センターが行う企業への発達障害の理解と雇用促進の講座は希望者が多いそうです。一方、高校や大学など学生までの支援は徐々に拡がり実績も見えてきたところがあるものの、就職してから躓き離職、さらには二次障害が深刻になるケースもあるという話題になりました。そのようにならないため、早期発見から就労迄の間にどのような支援をしたらよいか、企業により発達障害理解を深めてもらうにはどうしたらよいか、また支援機関が横にも縦にも切れ目のない支援をするにはどうしたらよいか、などを考えていく必要があるという意見が出ました。（M・K）

役員活動報告（埼玉県）

令和3年度第2回埼玉県発達障害者支援地域協議会

3/24（木）発達障害総合支援センター 研修室（オンライン会議システム併用）にて標記の協議会が開催されました。ZOOMにて参加しました。内容は以下のとおりです。

議事 発達障害の診療に係る待機について

報告（1）令和4年度発達障害支援事業予算について

（2）「世界自閉症啓発デー2022」における広報・啓発の取組

議事の発達障害の診療待機については第1回で発達障害者支援地域協議会の中に検討部会を設けると決議し、その後2回の診療・療育体制検討部会があり、当事者団体の「麦」と埼玉県自閉症協会とのヒヤリング、中核発達支援センターからのヒヤリングをして議論されたと報告がありました。令和4年度も引き続き検討部会を開き議論を重ねて令和4年度の第1回埼玉県発達障害者支援地域協議会の開催日（11月頃）に決議出来るようにしていくそうです。発達障害の診療の待機日数が改善されることを期待したいと思います。ご質問や資料閲覧などの問い合わせは、役員までお願いします。（A・Y）

役員活動報告（埼玉県）

令和3年度 移動等円滑化評価会議埼玉支局部会



国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局では、平成30年5月に公布された改正バリアフリー法に基づき、埼玉県における移動等円滑化の進捗状況の把握・評価を行うため、関係行政機関及び高齢者、障害者、地方公共団体、施設設置管理者、その他の関係者で構成する「移動等円滑化評価会議埼玉支局部会」を設置しました。

3/10（木）、さいたま市文化センターにおいて標記会議が開催され、「麦」から事務局のYが委員として出席いたしました。簡単に内容をご報告いたします。

- （1）国におけるバリアフリーの取り組みについて・・・関東運輸局、関東地方整備局から報告
- （2）事業所におけるバリアフリーの取り組みについて・・・国際興業（株）から報告
- （3）自治体におけるバリアフリーの取り組みについて・・・戸田市、さいたま市から報告
- （4）意見交換・・・出席委員たちから一言ずつ

私は、発達障害の過敏性に配慮した交通機関、読み書きに配慮したICTの活用、心のバリアフリー研修の強化等を進めていただくことをお願いしました。主催者である埼玉運輸支局の皆様、関係者及びご出席の皆様、当日はお世話になり、ありがとうございました。（H・Y）

令和3年度埼玉県若者支援協議会研修会 ～若者支援のためのネットワークづくり研修会～



標題協議会の参加者から紹介いただき、2/14（月）に行われた研修会に初めて当会役員2名が参加しました。今回は講演と事例検討会、交流会がコロナ禍によりZoomを利用して行われました。講演会では、特定非営利活動法人ビーンズふくしま江藤大裕氏から～若者支援におけるアウトリーチと居場所の役割とは～と題して実践の報告がありました。1999年フリースクールとして設立され、東日本大震災を経て、一人でも多くの助けを求めらる子供につながり、常により良い「居場所」とは何かをかんがえ、様々な活動を展開しています。年齢に合わせ求められる支援が変化するのに合わせ事業を起し、現在は「居場所」の他、子ども食堂、放課後児童クラブ、若者サポートステーション、ひきこもり相談支援センター、被災者支援の関係など多岐にわたる運営をされています。続いてご利用者の例を用いて事例検討を行いました。終了後は6人ほどのグループに分かれ、交流会が行われました。研修会の参加者には行政の教育・福祉関係の方、特別教育支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、県内の若者サポートステーションの方など様々な立場の方が参加されていました。孤立しがちな若者の居場所と社会へつながりより良い場が県内にできることを期待して関心を寄せたいと思いました。参加させていただきありがとうございました。（M・K）



令和3年度さいたま市ひきこもり対策推進事業地域支援研修 「中高年層のひきこもり支援を考える」

2/21（月）、さいたま市子ども家庭総合センター会議室において標記の研修が開催され、「麦」事務局のYがひきこもり対策連絡協議会委員として出席いたしました。まず、ひきこもり相談センターの説明があり、その次に「中高年層のひきこもりの方とその家族への関わり方～医療機関の立場から～」というテーマで、ひがメンタルクリニックの森本佳代氏のご講演がございました。最後に事例が紹介され、3つのグループに分かれてワークを行いました。参加者の9割がさいたま市職員で、発達障害を含め当事者家族会で参加したのは私だけでした。グループワークでは、福祉担当職員から専門的な施策を用いたスピーディな解決策がいくつも提案されました。私は、当事者および家族の視点から喫緊に解決すべき課題と、少し時間をかけてもひきこもり本人の気持ちに寄り添える対策が必要なことを意見しました。ひきこもり本人を支える家族は、とてもエネルギーを使い疲弊してまいります。家族だけで抱え込まずに、専門機関へ相談して一緒に考えていくことが大切だと感じました。

（H・Y）

令和3年度第3回さいたま市障害者政策委員会



標題の会議が去る3月14日（月）オンライン（Zoom）にて開催されました。主な議題は、令和6年度から8年度の障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査（案）についてでした。配布方法や設問についての質疑が行われました。今後ワーキンググループなどで引き続き内容検討して、7月にアンケート案を委員会に提示するとのことでした。このアンケートは10月に会員の皆様に配布される予定です。その際にご協力をお願いいたします。そのほか、令和4年度予算案の概要についての報告がありました。（Y・S）

役員活動報告（さいたま市）

さいたま市障害者政策委員会第1回ワーキンググループ

5/23（水）に標記ワーキンググループが浦和区役所保健センター 5階 大会議室で開催され、障害者総合支援計画策定のためのアンケート調査（案）についての意見交換が行われました。これまでの障害者政策委員会などの意見をふまえ、従来障害の種類によって6種類の内容のアンケートが作成されていたところを1種類にまとめる案が事務局である障害政策課から提案され、意見交換がなされました。発達障害者対象のアンケートには、今まで移動に関する設問はありませんでしたが、1本化により回答できる可能性ができた点を歓迎すること、配布対象を当事者団体（麦と埼玉自閉症協会）と療育センター利用者のほかにも検討してほしいとの意見を出しました。多くの参加者は1本化に賛同していましたが、設問の数と内容の精査、アンケート内容を別にしたほうが状況をとらえやすい対象者があるのではないかなど、さらなる検討が必要との意見があがりました。（Y・S）

役員活動報告（さいたま市）

令和3年度第2回さいたま市発達障害者支援連絡協議会



3/16（水） 標記会議がZoomを利用して行われ、委員として出席しました。

主な議題は、支援者育成のための支援ツールとしての「(仮) 模擬事例集&資源マップ」の内容の検討です。経験の浅い支援者に、支援の参考にしてもらうことを想定して、当協議会の委員である発達障害児・者の支援に携わってくださる各機関での事例をもとに、模擬事例集を作成します。あわせて、それらの機関がどのように関連し合っているかをわかりやすくまとめた資料も作成します。完成は令和4年度中の予定です。（M・K）

役員活動報告（さいたま市）

令和3年度第2回さいたま市発達障害者支援地域協議会

3/17（木） 標記会議がオンラインで開催され、委員として出席しました。

初めに、「発達障害児者及び家族等支援事業について」報告をいただきました。ペアレント・メンター事業（埼玉県と連携した事業）の活動報告では、コロナの影響で新規メンターの養成はなく、フォローアップ講座を実施。ペアレント・メンターによる発達障害オンライン講座が10回開催され、同じ悩みを持つ親同士の交流ができたそうです。他に、相談支援の状況、保護者や本人向けの講座など様々な活動の報告がありました。

また、令和4年度中の完成を目途に潤いファイルの改定作業を行っており、改定案への意見が出されました。あわせて潤いファイルの使い方ガイドブックも作成する予定で、潤いファイルの周知と有効な活用を目指しています。（M・K）

その他の活動

NPO法人 さいたま市障害難病団体協議会



「みなさまとの絆で60年 河端静子より感謝のことば」

5/26（木）NPO法人さいたま市障害難病団体協議会で標記の集いが行われ、「麦」から元代表のYが来賓として招かれました。さいたま市障害難病団体協議会は、障害難病者の生活向上を目指し活動している組織で、「麦」は加盟していませんが、行事などにお声掛けいただいております。このたび、長年代表理事を務めていた河端様が退任されることになり、多くの関係者が出席いたしました。河端様からのご挨拶の後、来賓者に感謝状と記念品が贈呈されました。河端様は、50年以上も埼玉県はもとより全国の障害福祉を牽引されている方で、旭日小紋章の叙勲など様々な場で受賞表彰されています。私は、河端様と17年前に全国LD親の会を通じて、全国障害難病団体協議会で知り合いましたが、それ以降私共へいつも心配りいただいております。

河端様、発達障害が理解されていない時代から、私共を温かく受け入れてくださり、本当にありがとうございました。河端様のご健勝と、さいたま市障害難病団体協議会の益々のご発展をお祈り申し上げます。（H・Y）

埼玉県 発達障害講演会



「発達障害は生涯発達！モノの見方が全てを変える」

埼玉県が県民向け講演会としてオンラインで企画した柳家花緑氏が語る！発達障害講演会「発達障害は生涯発達！モノの見方が全てを変える」をオンラインで視聴しました。配信期間は3/29（火）から4/12（火）でした。柳家花緑氏は40歳で発達障害と診断された当事者です。自身の子供時代からの苦労や苦手なことを克服するため工夫したことなど、さすがプロの断家さんですね。おもしろおかしく話して下さいました。ひとくりに発達障害と言っても、人それぞれにいろいろな特徴や困りごとがあるのだなとあらためて思いました。私たちの子供も自分の苦手なことをカバーできる力を身につけてくれたらいいですね。（C・N）

さいたま市 発達障害に関する講演会 「発達障害がある方の進路選択と就労支援」



「発達障害のある方の大人になった後の生活って？」

岸端 泉氏（さいたま市北区障害者生活支援センター 相談支援専門員）

「発達障害者の就労支援について」

田村 恭子氏（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部
埼玉障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー）

3/14（月）～4/15（金）さいたま市公式 YouTube チャンネルによる申込者限定配信

昨年度に引き続き、さいたま市の発達障害に関する講演会は動画配信で行われました。

「発達障害のある方の大人になった後の生活って？」と題した岸端氏のご講演では、大人になってからの生活をイメージし、そのために今何をすべきか考えることが大切だとおっしゃっていました。毎日の生活で、目の前のことばかりに気を取られがちでしたので、少し先の大人になった後を念頭に置くことに気づかせていただきました。「発達障害者の就労支援について」と題した田村氏のご講演では、必要に応じて支援や配慮を受けることが長く働き続けるための秘策とのこと。そして就労支援にそれまでの生活、教育の場面で得られた有効な情報が活きるということでした。就労支援は様々な関係機関との協働によるチーム支援であるとお言葉に、一人で考え込まず関係機関へ相談することが就労につながるのだと感じました。いずれのお話でも、今の生活と将来は繋がっているという当たり前のことを再認識しました。

さいたま市におかれましては、例年講演会を行ってくださりありがとうございます。

今年度は高校生以降の生活に言及していただき、将来を考えるよい機会になったと感じます。動画配信は自分のペースで見直すことができる利点があり、会場開催には直接質問できる魅力があります。いずれの方法でありましても、次回を楽しみにしております。

（Y・S）

「麦」活動報告（機関紙 2022 年 2 月 153 号報告以降）

<会全体の活動> 会員参加行事

- 総会
3/7（月） 第 33 回総会 会場開催
- 全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）
3/7（月） 交流会「新年度の活動に向けて」 会場開催
4/21（木） 交流会「あなたが望む発達障害支援とは」 会場開催
5/23（月） 進路例会 会場開催

<役員活動>

- 役員会（活動の報告、計画、相談、情報交換など） 全て Zoom 利用
4/11（月）、5/12（木）、16（月）
上半期活動計画 4、5、6 月全体例会準備 役員と役員補助の仕事内容など確認
全国 LD 親の会総会の準備
- 機関紙発行および各種発送に関する活動
2/24（木） 機関紙 153 号発行、WEB 掲載 機関紙及び総会資料等印刷・発送
4/21（木） 機関紙臨時号発行、印刷・発送
- ホームページの更新
2/24（木）、4/8（金）、4/11（月）、5/8（日）
- 行政関連の行事
2/14（月） 埼玉運輸支局移動等円滑化評価会議埼玉支局部会の打ち合わせ（Zoom）
2/14（月） 若者支援のためのネットワークづくり研修会（Zoom）
2/21（月） さいたま市ひきこもり対策連絡協議会主催研修会
3/10（木） 埼玉運輸支局移動等円滑化評価会議埼玉支局部会
3/14（月） さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
3/16（水） さいたま市発達障害者支援連絡協議会（Zoom）
3/17（木） 埼玉県発達障害者支援センター運営協議会（Zoom）
3/17（木） さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
3/24（木） 埼玉県発達障害者支援地域協議会（Zoom）
5/23（月） さいたま市障害者政策委員会ワーキンググループ
- その他
3/14（月）～4/15（金） さいたま市 発達障害に関する講演会「発達障害がある方の進路選択と就労支援」
3/22（火）～4/8（金） 発達障害啓発週間ポスター展示（県庁渡り廊下にて、JDDnet 埼玉の活動）
3/29（火）～4/12（火） 埼玉県 発達障害講演会「発達障害は生涯発達！モノの見方が全てを変える」
5/16（月） (株)Kaizen から事業説明（Zoom）
5/23（月） 障害者就労継続支援 B 型事業所 PiiS Plaza さいたまから事業説明
5/26（木） NPO 法人 さいたま市障害難病団体協議会
5/30（月） 埼玉県、さいたま市あて要望書検討会（Zoom）

<全国 LD 親の会の行事>

- 2/20（日） 関東・東北ブロック会議（Zoom）
- 3/12（土） オンライン交流会「コロナ禍における新年度の活動について」
- 6/12（日） 第 15 回総会（Zoom）

全体交流会 おしゃべり会 開催のお知らせ



感染対策を行った上で会場での対面おしゃべり会を開催いたします。みなさんの胸に抱えている悩みを話してみませんか？近況報告も大歓迎です。

麦会員限定（賛助・法人会員含む）の小グループによるおしゃべり会ですが、**入会検討中の会員以外の方もお試し参加として見学を受け付けています。**参加ご希望の方は 下記の申し込み先にご連絡ください。皆様の参加をお待ちしております。

参加費無料 定員 30名 先着順 定員になり次第締め切り

日時 7月25日（月）10:30～12:00（受付 10:15～）

会場 浦和コミュニティセンター 第14集会室

さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ10F TEL 048-887-6565
JR浦和駅東口徒歩1分 ロータリー前 有料駐車場あり

申込み&問合せ先 埼玉親の会「麦」 Mail mugisaitama89@gmail.com（申込先）
TEL 080-4125-6020（再確認用）

7月17日（日）までに、参加者名、電話番号およびお子様の年齢をメールでお申込みください。3日以内に受付完了メールを送信します。受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は、お手数ですが電話でご連絡ください。見学参加者の個人情報、交流会の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。会員はメール連絡で申し込み先を確認してください。

新型コロナウイルス感染防止対策のお願いと諸注意

- お子様を感染から守るため、お子様のご同伴はお控え願います。
- 当日は検温し、マスク（要持参）を必ず着用してください。体調不良の場合はご参加を見合わせてください。
- 感染対策に際し、理由なくスタッフの指示にご協力いただけない場合は、お断りすることがございます。
- **会場開催の予定ですが、緊急事態宣言等の感染状況によりオンライン（Zoom）に変更する場合がございます。**その際にご連絡させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 感染対策は行いますが、万一感染者発生の場合、当会は責任を負いかねます。ご理解の程お願いいたします。

埼玉親の会「麦」は、

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD（自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。（1989年発足）保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

NPO法人全国LD親の会所属。

麦 INFORMATION 6月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで _mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙役員まで。

※7月おしゃべり会 麦会員限定（賛助・法人会員含む）入会希望の見学者可

日時：7月25日（月）10：30～12：00（受付10：15～）

場所：浦和コミュニティセンター第14集会室

※詳細はチラシ（9ページ）または麦ホームページにて確認してください。

会員の申し込み先はメール連絡でお知らせいたします。

※9月全体例会 内容は未定

日時：9月12日（月）10：30～12：00の予定

※詳細は会員連絡網または麦ホームページにてお知らせいたします。



※役員会のお知らせ

役員会は月1回程度行っています（次回は7/11（月）の予定）。

役員会は役員だけでなく会員なら誰でも参加できますが、コロナ禍では感染や多人数でのZoom混乱を防ぐため、役員のみで行わせて頂きます。役員会にご意見がある会員は、役員までご連絡ください。

*今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

※予告 第21回全国LD親の会公開フォーラム

申込等詳細は決まり次第お知らせします

「発達障害のある人の教育から就業への移行～コロナ禍における変化～」

日時：11月9日（水）～11月23日（祝・水）基調講演・調査報告・話題提供をオンライン録画配信

11月13日（日）10:20～16:10 上記収録済「基調講演・調査報告・話題提供」を会場で録画再生

パネルディスカッションのみ 11/13会場からオンライン生配信

11/13の会場：さいたま市会場（8月中旬決定）

開催配信方式：オンライン（Zoomウェビナー）

参加費：一般1500円、会員1000円（賛助会員と法人会員も会員価格で参加できます。）

主催：NPO法人 全国LD親の会

共催：埼玉親の会「麦」 茨城LD等発達障害親の会 星の子

*内容は全国「かけはし」で確認 https://www.jpald.net/kakehashi/pdf/kakehashi94_20220412.pdf



～編集後記～ 2022年度機関紙担当からのご挨拶

コロナとの付き合いも長くなりましたが、コロナ前の生活を取り戻しているように思います。しかし、まだまだ油断できない状況です。麦の活動も感染対策をしながら、活動出来たら良いなと思っています。

今年度は役員2名、補助の方3名の5名体制で行っていきます。今年度も多くの情報を提供できるように務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。（A・Y）

コロナともようやく付き合い方が分かってきました。相手がわかると、安心感も出てきます。人間関係も同じではないでしょうか。ほど良い距離感を考えつつ、賢く対応していきたいものですね。今年度も機関紙役員を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。（C・O）

機関紙に原稿を お寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙6月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。

<機関紙担当一同>

